

プロジェクト写真



製品概要

材 質：フレーム：壁/スギCLT 梁/LVL 柱/FSCスギ

ベンチ/FSCスギ及びコナラ（登米産材、南三陸産材）

サ イ ズ：w5600×d1400×h2500（フレーム）

所 在 地：宮城県仙台市青葉区中央1丁目1 エスパル仙台（仙台駅）本館 1階

完 成：2019年4月



製作メンバー

制 作：登米町森林組合（担当/會津浩幸）
 材料製造：CLT、LVL製造/西北プライウッド株式会社
 一次加工/株式会社 山大
 ワークショップ協力：仙台ターミナルビル株式会社
 協議会仙台駅内装木質化提案チーム

エスパル仙台本館 1階(仙台駅) 木質化休憩所

協議会 取り組み

仙台ターミナルビル株式会社及び協議会公募メンバーによるワークショップを開催した。駅施設においての内装木質化をテーマとした相互意見交換を行い、宮城の資源「木」をアピールでき、設置場所の法基準、利用者要望等をクリアすることを前提条件として意匠検討を行った。

数回の意見交換を公募メンバーと仙台ターミナルビル株式会社にて行い、本デザインに決定。

又制作においても協議会内メンバーを追加公募し、複数社の制作メンバーを増やしデザインから製作完成までの一貫したALLみやぎの協働デザイン・制作体制で本プロジェクトを実行した。

設計趣旨

身近な暮らしに地域の木材を取り入れる生活は、豊かな環境を育むことにつながると考えプロジェクトを推進。多くの人が利用する仙台駅で利用者に「みやぎの木」に直接的に触れ、感じ、豊かな宮城の森資源を感じてもらうとともに、CLT等の木材最先端の県内技術をアピールすることを目的に設置。

フレーム： 多くの人々が忙しく行きかう駅の中で、少しでも快適に休憩できる場を創出したいと、一般的な空間から仕分けるためにフレーム形式を採用。又一部CLTで円形の切り抜きを有した壁面で構成し、外部からの認識度を上げるとともに「木」の持つ意匠を強調

ベンチ： サイン性を強調したベンチとした。オリジナル性を創出するとともに利用者が快適に楽しさを合わせ、感じる事ができるものとした。

設計者

デザイン及び意匠監修：

フレーム/安達 揚一 (株式会社 SPAZIO建築設計事務所)

サインベンチ/吉田 陽子 (株式会社 櫻田建築設計事務所)

アクセス

住所：宮城県仙台市青葉区中央1丁目1
1 エスパル仙台本館1階（仙台駅）

